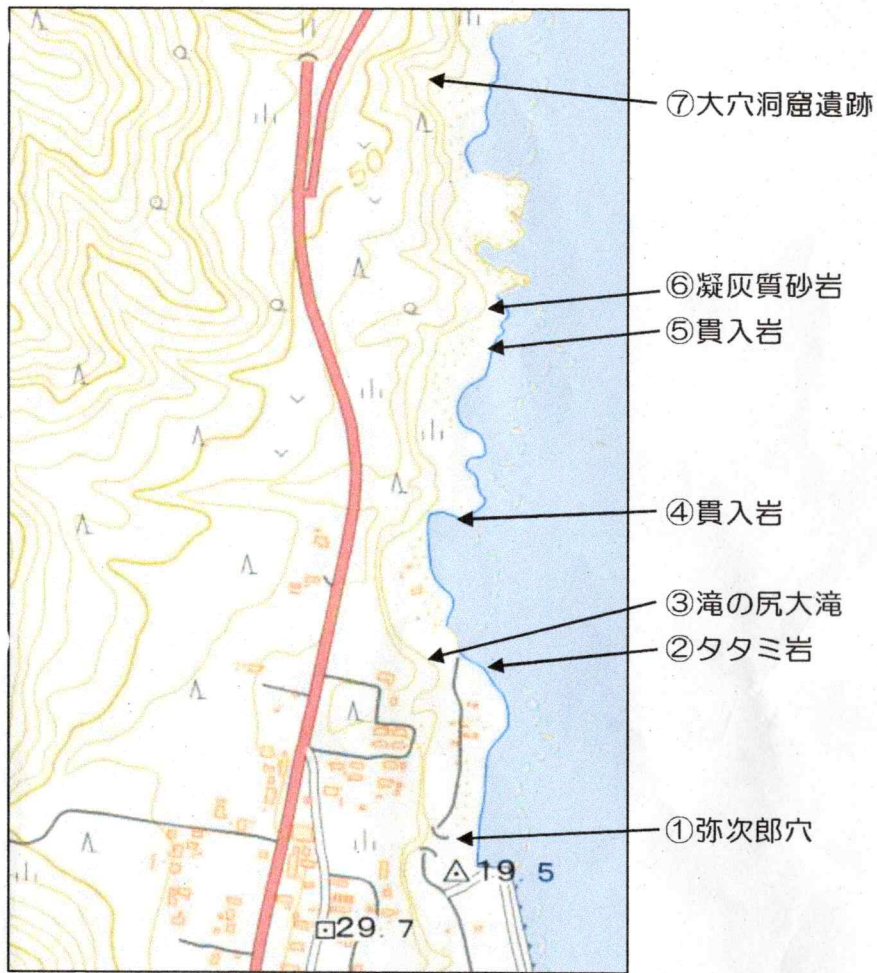


2022年10月22日「泊海岸トレッキングツアー」資料(青森県立郷土館 島口)

### 六ヶ所村泊地区に分布する「泊層」

泊層は、海底火山活動による玄武岩～安山岩溶岩、火山砕屑岩及び貫入岩を主体とし、凝灰質砂岩、礫岩及び軽石火山礫凝灰岩を伴う。堆積年代は、1660万～1500万年前の範囲にあると考えられる。老部川流域より北方の山地を形成して広く分布し、泊海岸でも様々な岩相を観察することができる。



泊海岸の地形図と観察ポイント

### ①弥次郎穴

火山砕屑岩に生じた割れの下部が、波によって浸食されてできた海食洞のトンネル。南側から見て、見る角度により穴の輪郭がトトロに見えることから「とまりのトトロ」と呼ばれている。



南側から見た「弥次郎穴」

### ②タタミ岩

柱状節理(ちゅうじょうせつり)が発達した玄武岩質安山岩の貫入岩。柱状節理とは「はしら状の規則的な割れ」という意味で、畳岩では柱を横に倒して重ねたような状態になっている。柱の断面は五角～六角形。一部には、薄い板状に割れが発達した板状節理(ばんじょう